

メッセージのアウトライン

礼拝（第3回） 4:8-31, 5:1「律法から福音へ」

重要語句「キリストは、自由を得させるために、私たちを解放してくださいました。ですから、あなた方は、しっかり立って、またと奴隷のくびきを負わせられないようにしなさい。」 5:1

序) 再び奴隷になることを求める愚かさ E. フロム「自由からの逃走」

I 逆行への警告 8-11

1、真の神様を知らない時＝靈的奴隷状態

・ 奴隷状態が自由・賢く・快適？

2、解放からの逆戻り、再び奴隷へ

3、割礼から諸（祭儀）規定へ＝福音宣教の産みの苦しみが空しく

・ キリストが形造られるまで 19

II 個人的な訴え 12-20

1、私のようになってほしい

・ キリストとの関係において

・ 私も異邦人のようになったのだから

2、福音宣教時の経験を思い出してほしい

・ 熱しやすく、冷めやすいガラテヤ人

3、救いの喜びに立ち返ってほしい

・ 「初めの愛に、..」

4、私はあなた方の味方

・ 賢く、動機を見分けてほしい

5、割礼主義者の熱心の本質

・ 人間が問題か？福音（キリスト）が問題か？

6、パウロの衷心からの訴え あたたく「わたしの子ども（幼な子）たちよ」

:キリストの形造られるまでの苦しみ

→キリストが刻印（割礼）されるまで、

7、パウロの真実性

→私は困っている、途方にくれている

III アブラハムの2人の息子（ハガルとサラの比喩） 21-31

1、体験から直面へ

2、大胆な比喩

3、奴隷女—ハガル—シナイ山—地上のエルサレム＝奴隷の子

4、自由の女—サラ—天上のエルサレム—私達の母＝自由の子

5、約束の子（＝み霊の子）は、肉の子から迫害された

6、二者択一の選択の決断

7、私たちの立場：自由の女の子

IV 結論 5:1

「キリストは、自由を得させるために、私たちを解放してくださいました。ですから、あなた方は、しっか

り立って、またと奴隷のくびきを負わせられないようにしなさい。」

適用

あなたが真に自由と思う時はどんな時でしょう 自分の思い通りに人生が進む時でしょうか？ キリストとの交わりの中でしょうか？